

モーセの両親

□モーセの両親の信仰の手本

信仰によって、モーセは生まれてから三か月の間、両親によって隠されていました。彼らはその子のかわいいのを見、また、王の命令を恐れなかったからです。(ヘブル 11:23)

□これまでの振り返りと今回からの学び

1. アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフの4人の人生から、神の約束を信じ、それゆえ復活を信じる信仰の手本を学んできた。なお、この4世代の間を、「族長時代」と呼ぶ。ヤコブの息子たち、ヨセフを含む12人が十二部族の族長となり、イスラエル民族が形成されることになる。
2. アブラハム契約・・・神は、全人類の中から一人の人、アブラハムを召し出し、彼に3つの約束を与えた。土地の約束、子孫の約束、祝福の約束である。神はその約束を確かなものとして、アブラハムと契約を結ばれた。
 - (1) 土地の約束・・・神はアブラハムにカナンの地を与えると約束した。しかし、その約束が成る前にアブラハムは死ぬだろうとも言われた。アブラハムは、神の約束が必ず成るとするなら、自分は一度死んでも、必ず復活して約束の地に立つことになる、と分かった。土地の約束を信じるということは、復活を信じるということである。
 - (2) 子孫の約束・・・アブラハムには子がなかった。妻のサラが不妊の女性だったからである。そのアブラハムに、神は多くの子孫を与えると約束した。その約束から25年後、アブラハム自身も老齢になって子を産むという能力においては死んだのも同然の体であったのに、アブラハムとサラの夫婦から、イサクが生まれた。神には死者を生かす力があるということがはっきりと分かった。
 - (3) 祝福の約束・・・「わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される」(創12:3)。これは、神の守りがアブラハムにあること、そして、アブラハムとその子孫に良い事をする人は神の祝福を受け、害を加えようとする人は神ののろいを受けるという約束である。さらに、「地のすべての部族は、あなたによって祝福される」とはどういうことか？ 次の3.へ。
3. アブラハムによって全人類が祝福を受ける・・・その祝福とは、アブラハムが信じた復活である。アブラハムの信仰にならい、神には死者を生かす力があると信じるなら、全人類、だれであっても神から復活の祝福を受け取ることができるというのである。そして、復活こそが神の祝福の中核である。どんなに物質的に恵まれ、家族に恵まれても、病気に苦しみ、死んでしまうなら、悲しくむなしい。神が天地万物を造ったのは、死を味わわせるためではない。神が最初に人を造ったとき、人は死ぬものではなかった。死も病気もない完全な体をもってこそ、神が造ったこの世

界の中で、私たちは神の栄光をほめたたえることができる。

4. アブラハム契約が必ず成ると信じる信仰は、復活を信じる信仰でもある。この信仰が、アブラハムからイサク、そしてヤコブ、さらにヨセフへと継承された。
5. エジプト寄留・・・ヤコブは、ヨセフの功勞によりエジプト王から国賓の待遇を受けて、家族とともに飢饉を避けてエジプトに寄留することになった。
 - (1) 寄留開始から 17 年後にヤコブは死んだ。ヨセフと彼の兄弟たちは、父ヤコブの遺体をカナンの地に運び、先祖アブラハムとイサクが眠る墓に納めた。
 - (2) しかしその後 13 年、寄留開始からは 30 年で、ヨセフの兄弟たちに対するエジプトの態度は変わり、彼らは移動の自由を制限されたようである。そのような状況となってから 40 年後にヨセフは死んだ。
6. モーセ・・・ヨセフが死んでから 280 年後、モーセが生まれ、モーセが 80 歳のときにイスラエル十二部族の民を奴隷状態から解放してエジプトを出国することになる。このとき、イスラエルの民はヨセフの遺骸も携えて出国する。実にヨセフの死後、360 年である。
7. 今回から、モーセの両親、モーセ、海を渡ったイスラエルの民、ラハブと、信仰の手本を見ていく。ここでの、信仰の手本の特徴は、**信仰による勇気と決断**である。
8. ヨセフの死後、イスラエルの民はエジプト王の奴隷のような状態に陥った。さらに、モーセが生まれる頃は、反乱を恐れたエジプト王がイスラエルの男子の数を減らす政策を採った。モーセの父はアムラム、母はヨケベデ（出 6：20）、彼らは命の危険を冒してモーセを隠した。

□モーセの両親

1. エジプト王によるイスラエル民族への迫害が激しく、生まれた男の子はみな、殺すように命令されていた（出エジプト記 1 章）。モーセの両親は、生まれた子が「かわいいのを見て」、3ヶ月間、その子を隠した（出 2：1～2）。
2. 「彼らがその子の**かわいいのを見て**」（ヘブル 11：23） 前の訳「美しい」
 - (1) 美しい【アステイオス】、新約聖書では、ここと使 7：20 だけ。ともにモーセ。
 - (2) 外見的な美しさだけでなく、その子に神の使命があることを示唆する。
「神の目になつた、かわいい子」（使 7：20）
3. モーセの両親は、神の啓示に応答して、その子を三か月間、隠した。神の啓示に応答したという点で、彼らの行動は「信仰によって」である。その結果、「**王の命令を恐れなかった**」（ヘブル 11：23）。彼らの勇気は、信仰によるものであった。

□モーセの両親が王の命令を恐れなかったその勇気は、信仰によってもつことができた、と言われていています。では、モーセの両親は何を信じていたのでしょうか？

（参考 ヨセフの臨終のときのことば 創 50：24～26）